

なかやしき慎一チャレンジ報告

チャレンジ通信

埼玉県議会議員
無所属刷新の会
鴻巣支部
なかやしき 慎一

なかやしき 慎一

発行所
無所属刷新の会 鴻巣支部
県議会議員 中屋敦博
〒305-0039
鴻巣市東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110
FAX 048-541-0256

討議資料

新年度が始まり一カ月が経過した。国政は、相変わらず「混沌」を抜け出せない状況が続いている。マニフェストへの過度なこだわりにより、なかなか実状を映しきれないまま展開してきた新政権。ここに来て、進展の見られないまま5月を迎えようとしている沖縄の普天間基地の移設問題。そして、高速道路の無料化などは、まるで、反マニフェストといった内容になってしまっている。しかし、与党のこんな現状にもかかわらず、戦後政治を引っ張ってきたはずの野党第一党も、与党ボケからなかなか脱することができず、国会では政権与党を追い詰めるといった迫力すら感じられない様子が報じられている。そんな中、つい先日、この状況を憂いて新しい政党が誕生したが、平均年齢は70歳を超えているようだ。いやいや、年配の皆さんだからって悪いわけではない。豊富な経験は、政策などの面ではかなり期待できるかもしれない。でも、それよりもこの新党の結党会見の時に私が一番気になったのは、平均年齢が高いことを指摘されたのに対して、応援者として会見に同席して



3/18 予算特別委員会
締めくくり総括質疑

いた石原都知事が、「30、40代の人間で、ここに集まっている者たち以上に、この国の現状を憂いている者がいるのか?」と言い切ったことだった。石原都知事がこの表現をばからないほど、国政の現場での危機感には欠如してしまったのか? テレビドラマを含めて、今また、坂本竜馬の人氣が上がっている一つの理由は、土佐藩下級武士の出で、しかも脱藩浪人である竜馬が、己の思いに忠実に新しい国造りにその身をささげる潔さなのだろう。「憂国」今、まさにこの言葉の意味を改めて考えなければならぬ時代を迎えているのではないだろうか? しかし、国政を憂っているだけでなく、今後、地方・地域は、国にとって代わるほどの気概を持ってそれぞれの行政運営を進めて行かなければならない。私たち議員も、もっともっと勉強して、行政施策のチェックスキルや政策立案能力の強化を図らなければならない。頑張らねば。

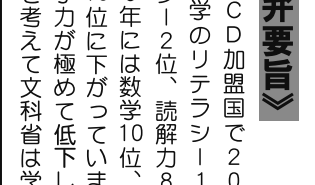
CLICK
3月8日、9日に、20人の委員から総括質疑を行いました。
3月18日には、各常任委員会から提出された調査報告書をもとに、13人の委員が締めくくり総括質疑を行いました。各委員の質疑に対し、一問一答形式で、上田知事をはじめ執行部から答弁がありました。
私は会派を代表し、質問に立ちました。

全国学力テストの結果開示について

Q 昨年の全国学力テスト開示の様子を見てみますと、秋田県寺田前知事は、「公教育は、プライバシーを除いて公開が基本だ。」というご自身の判断によりこれを公開されました。そして、大阪府の橋下知事は、公開に同意した32市町村の市町村別成績を公開。のちに府教育委員会も、情報公開請求を受けていた市町村別正答率などのデータを公開しました。そして、鳥取県では、20年12月の情報公開条例の改正後、21年春実施分のデータを情報公開請求者に開示。その後、19年度分の開示を明示した鳥取地裁判決が、21年10月19日に確定したのを受けて、10月22日にこれまで非開示としてきた、19、20年度分の市町村別学校別結果を開示しました。過去3回分の結果がすべて明らかになるのは全国初だと言えます。こうした他県の状況の中で、昨年の3月末には、県内市町村長宛てに開示を求める要望書を送るなどして、積極的にこの「全国学力テスト」で得られたデータを子どもたちの学力向上に役立てるべきこの姿勢を示しつつ、そして22年度の予算においても教育を含む「未来への投資」というのを重点課題の一つとして挙げていくという上田知事は、今後本県としてどう対応すべきかと考えなんでしょうか? ご所見を伺います。

Q 9日の本委員会での、野中委員の質疑に対して、知事は「答弁の中で、「この問題に対しては、高い関心を持ち注目していく必要がある。」とお答えになったように記憶しております。そしてテレビでは、内閣府が手掛けている「眠れてますか?」キャンペーンをやっているというのにも皆さんご承知の事と思いますが、本県の特徴である今後の急速な高齢化、高い核家族化率、中小零細企業中心の経済環境、これらは、ともすると自殺者が増大してしまう危険因子になってしまっているのではないかと感じております。だからこそ、私は、今年度から取り組んでいる3年間の自殺対策基金事業の間に、現状への対策と併せて重要なのは、未来へ続くシステムであったり、ネットワークをどう作るかだと思っています。知事のお考えをお聞かせください。

《上田知事答弁要旨》
A 日本はOECD加盟国で2000年に数学のリテラシー2位、読解力8位、それが2006年には数学10位、科学6位、読解力15位に下がっています。日本人の基礎学力が極めて低下しつつあるという事を考えて文科省は学



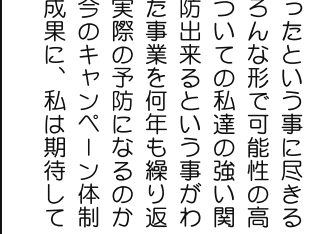
力テストの復活をした訳であります。後退という動きの中でしかも、学校の現場では約束事をいい事に情報公開をしない、開示しないという状況が強いので私としては極めて不満であります。埼玉県の教育委員会は委員会なりに一部公開などいろいろ工夫をしております。市町村の教育委員会との約束事という事でやっておりますが、出来るだけ市町村教育委員会を説得して、全面的情報公開をするような事をやっていた方がいいというのが私自身の考えであります。

自殺対策について
Q 9日の本委員会での、野中委員の質疑に対して、知事は「答弁の中で、「この問題に対しては、高い関心を持ち注目していく必要がある。」とお答えになったように記憶しております。そしてテレビでは、内閣府が手掛けている「眠れてますか?」キャンペーンをやっているというのにも皆さんご承知の事と思いますが、本県の特徴である今後の急速な高齢化、高い核家族化率、中小零細企業中心の経済環境、これらは、ともすると自殺者が増大してしまう危険因子になってしまっているのではないかと感じております。だからこそ、私は、今年度から取り組んでいる3年間の自殺対策基金事業の間に、現状への対策と併せて重要なのは、未来へ続くシステムであったり、ネットワークをどう作るかだと思っています。知事のお考えをお聞かせください。



お父さん眠れてる
今年度から3年間で自殺対策緊急強化基金事業、国の基金も活用しながら初めてオールニッポン、オールジャパンで取り組む形になるとラジオ、新聞、ポスターさまざま
まなものを通じて埼玉県だけではなく、国、県、市町村、全部合わせてキャンペーンをやる作業になっております。しかし、これまでこうした事をやったことがほとんどない。これがどのくらい成果を得る力かという事について非常に私も関心があります。大幅に減るような事があれば、つまり、多くの人が関心を送る事で、もし自殺が減るといふ事であれば、まさに原因はよく見ていかなかったという事に尽きると思います。いろいろな形で可能性の高いような方々についての私達の強い関心が、自殺を予防出来るという事がわかれば、こうした事業を何年も繰り返してやる事で、実際の予防になるのかなと思えます。今のキャンペーン体制により得られる成果に、私は期待している所です。

《上田知事答弁要旨》
A 県の特徴である今後急速な高齢化社会、また50代、60代が増えるといった事を考えると、自殺者の減る要素より増える要素の方が高いということでの問題意識は、私も正しいと思っております。
今年度から3年間で自殺対策緊急強化基金事業、国の基金も活用しながら初めてオールニッポン、オールジャパンで取り組む形になるとラジオ、新聞、ポスターさまざま
まなものを通じて埼玉県だけではなく、国、県、市町村、全部合わせてキャンペーンをやる作業になっております。しかし、これまでこうした事をやったことがほとんどない。これがどのくらい成果を得る力かという事について非常に私も関心があります。大幅に減るような事があれば、つまり、多くの人が関心を送る事で、もし自殺が減るといふ事であれば、まさに原因はよく見ていかなかったという事に尽きると思います。いろいろな形で可能性の高いような方々についての私達の強い関心が、自殺を予防出来るという事がわかれば、こうした事業を何年も繰り返してやる事で、実際の予防になるのかなと思えます。今のキャンペーン体制により得られる成果に、私は期待している所です。



内閣府キャンペーンポスター

埼玉県平成22年度予算特集!!

県民1人あたりの予算の使われ方は



平成22年度一般会計当初予算
約**1兆6,764億円**(前年度比 -1.2%)

総務・市町村支援

1人あたり**11,000円**
(前年度比 -7.7%)

- ◆「川幅日本一」を活かした地域おこしの促進
- ◆公共交通への利用転換の促進
- ◆私立学校父母負担軽減事業補助
- ◆市町村のまちづくりを応援

くらし・文化

1人あたり**1,700円**
(前年度比 +31.4%)

- ◆国際ジュニアサッカー大会
- ◆防犯のまちづくりの推進
- ◆危機管理防災センターの新設
県庁隣接地に防災拠点を新設、災害へ備える。
- ◆DVの予防、被害者の相談・保護

環境

1人あたり**1,600円**
(前年度比 +13.5%)

- ◆太陽光発電の飛躍的な普及拡大
- ◆住宅の省エネリフォームのエコアップ促進
- ◆県民参加による里川の再生
- ◆学校や地域における環境学習の推進

福祉

1人あたり**36,000円**
(前年度比 +17.1%)

- ◆「赤ちゃんの駅」3000箇所設置
- ◆介護職員の資格取得への助成
- ◆福祉・介護人材確保対策の推進
- ◆特別養護老人ホームのさらなる充実
- ◆高次脳機能障害者総合支援センターの設置

保健・医療

1人あたり**7,600円**
(前年度比 +2.4%)

- ◆救急医療体制の充実
- ◆がん診療連携拠点病院の充実
- ◆小児救急24時間体制の確保
- ◆自殺対策の強化
- ◆周産期医療の充実

商工・労働

1人あたり**4,200円**
(前年度比 +28.4%)

- ◆環境対応ビジネス推進のさらなる強化
- ◆中国市場進出の為に上海に支援拠点設置
- ◆中小企業制度融資事業の拡大継続
- ◆新しい埼玉観光の創造
- ◆若者の就職・資格取得を支援

農林業

1人あたり**3,500円**
(前年度比 -5.7%)

- ◆みどりの学校ファームをさらに推進
- ◆地産地消の推進
- ◆埼玉ブランド農産物推進事業
- ◆「明日の農業担い手育成塾」を設置
- ◆農業大学校を熊谷に移転

土木・まちづくり

1人あたり**18,000円**
(前年度比 -20.0%)

- ◆カーナビ活用による危険箇所の解消
- ◆くると埼玉サイクルネットワーク構想の推進
- ◆川の再生のさらなる推進
- ◆民間建築物の耐震化の促進
- ◆県営住宅を環境配慮型へ

教育

1人あたり**78,000円**
(前年度比 +0.9%)

- ◆就職指導・キャリア教育を支援
- ◆外部人材を活用し非常勤講師として配置
- ◆県立特別支援学校教室不足対策の推進
- ◆総合教育センターを旧行田女高へ移転統合
- ◆埼玉サイクリングフェスティバル開催

警察

1人あたり**20,000円**
(前年度比 -2.0%)

- ◆警察官・警察職員をさらに増員
- ◆交通管制センターのホストコンピューターを更新
- ◆次世代無線システムを導入
- ◆東入間警察署の改築調査設計
- ◆交番・駐在所を計画的に整備

公債費

1人あたり**31,000円**
(前年度比 -7.8%)

◆借金の返済
※県債の残高は、おおよそ1人あたり47.7万円

議会

1人あたり**420円**
(前年度比 -0.9%)

◆いよいよ、昨年度(21年度)分の県政調査費の執行状況が公開されます。刷新の会では、19年度分から既に、執行一円から全面公開していますが、他党派の執行状況はどんななのか気になるところです。

諸支出金

1人あたり**20,380円**
(前年度比 -3.0%)

- ◆地方消費税清算金
- ◆地方消費税交付金
- ◆自動車取得税交付金

※1人あたりの金額はあくまで目安です。ご了承ください。

蜘蛛の糸の視察を終えて、祭りの時には大変賑わったであろう竿灯大通りを歩くこと約20分、秋田県庁に到着。県行政としての自殺予防対策について調査した。秋田県の自殺予防対策は、全国の自殺者数が3万人を超えた3年目の平成12年に始まる。この年は秋田県

◆秋田県庁

蜘蛛の糸は、企業経営者の自殺予防対策に取り組んでいる。佐藤理事長が自殺対策に取り組むようになったきっかけは「友人の自殺」。また、御本人も事業に行き詰まり「うつ」を患った経験を持っていらっしゃる。9年目を迎える活動の中心は徹底した相談体制。ここ数年の長引く不況の中で、相談件数は増加の一途をたどり、遠方よりの相談者も増えているそう。今回の視察では多くの示唆をいただいたが、最も印象に残ったのが、佐藤理事長の熱意の深さである。「自殺を個人の問題として考えるのではなく、社会問題として捉える事の必要性」や「戦略的 thinker を持ち、具体的な目標に向かって出来ることは全部やる」という覚悟なしには成果など上げられない。彼の言葉に、この問題への取り組み方の鍵があると感じた。



◆特定非営利活動法人 蜘蛛の糸

2月9日(土) 無所属刷新の会 鴻巣支部
予算特別委員会質問関連調査

平成22年度所属委員会

常任委員会

●総務県民生活委員会

総務部、県民生活部および人事委員会に関する事項ならびに他の常任委員会の所管に属しない事項を審査します。

特別委員会

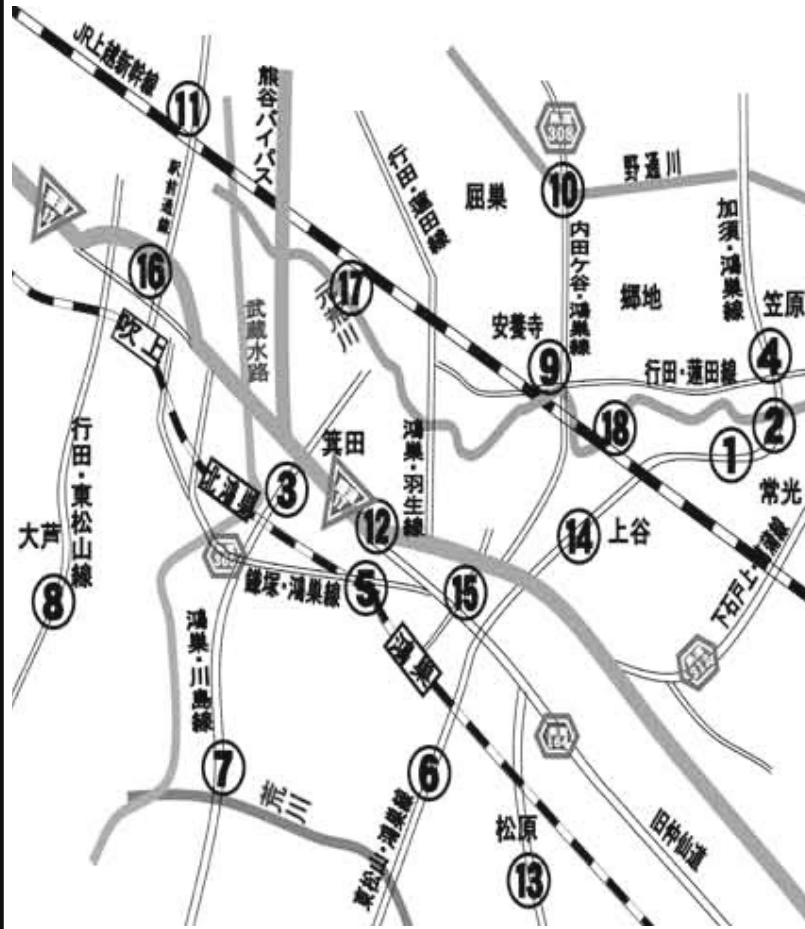
●緊急経済対策特別委員会

雇用、景気浮揚、中小企業の振興および企業誘致に関する総合的対策について審査します。

の自殺者も400人を超えて3年目である。現在まで、数々の対策を講じてきているが、中でも、うつ病の早期発見や適切治療を支援するため、「自殺予防協力医・うつ病治療登録医制度」を県医師会自ら制度化している点や、その効果を高めるために、行政サイドとして一般臨床医や看護師に向けてうつ対策の研修会を開いている点などは、行政と関係団体の連携がより効果を上げる可能性を広げている。また、県内全市町村の首長・議長を対象にトップセミナーを開き、理解を深め、認識の共有化を図ろうとしている点なども、今後、本県が新たな取り組みを進める為にも、大いに参考とすべきであろう。



鴻巣市(旧鴻巣市・吹上町) 平成22年度当初予算案工事箇所



No.	路線名等	事業名	事業の概要	備考
①	加須鴻巣線(笠原大橋)	社会資本整備総合交付金(改築)事業費	長さ 350m 幅 6.0(12.0)m	補償
②	加須鴻巣線(笠原大橋)	地方特定道路(改築)整備費	長さ 350m 幅 6.0(12.0)m	補償
③	鴻巣川島線(鴻巣立体)	地方特定道路(改築)整備費	長さ 680m 幅 6.5(14.0)m	用地補償
④	行田蓮田線(笠原)	社会資本整備総合交付金(交通安全)事業費	交差点改良	用補測試
⑤	鎌塚鴻巣線(加美)	地方特定道路(交通安全)整備	踏切改良 長さ 15m 幅 2.0m	負担金
⑥	東松山鴻巣線(逆川)	自転車通行環境整備費	自転車道 長さ 100m	工事
⑦	鴻巣川島線(糠田橋)	社会資本整備総合交付金(橋りょう維持)事業費	床版補強 長さ 776m 幅 9.7m	工事
⑧	行田東松山線(大芦橋)	社会資本整備総合交付金(橋りょう維持)事業費	床版補強 長さ 1016m 幅 9.5m	工事
⑨	内田ヶ谷鴻巣線(郷地橋)	地方特定道路(維持)整備費	伸縮装置取替 長さ 47.9m 幅 11.8m	工事
⑩	内田ヶ谷鴻巣線(郷地)	舗装道整備費(舗装打ちかえ工事)	切削オーバーレイ 長さ 500M 幅6.0m	工事
⑪	行田東松山線(下忍)	舗装道整備費(舗装打ちかえ工事)	切削オーバーレイ 長さ 400m 幅6.0m	工事
⑫	鴻巣橋川さいたま線(加美)	舗装道整備費(舗装打ちかえ工事)	切削オーバーレイ 長さ 500m 幅 6.0m	工事
⑬	さいたま鴻巣線(松原)	舗装道整備費(舗装打ちかえ工事)	切削オーバーレイ 長さ 500m 幅 6.0m	工事
⑭	加須鴻巣線(生出塚)	舗装道整備費(舗装打ちかえ工事)	切削オーバーレイ 長さ 500m 幅 6.0m	工事
⑮	鴻巣停車場線(東)	舗装道整備費(舗装打ちかえ工事)	低騒音舗装 長さ 400m 幅 9.0m	工事
⑯	行田東松山線(吹上本町)	自転車通行環境整備費	自歩道内分離 長さ 200m	工事
⑰	元荒川	河川改修費	護岸工 長さ 300m	工事
⑱	元荒川	水辺再生100%推進費	親水護岸工 長さ 120m	工事

平成22年度予算編成に対する対応状況等 県土整備部

●鴻巣駅東口C・E地区市街地再開発事業の進捗に伴う、一般県道鴻巣・桶川・さいたま線(鴻巣停車場線～都市計画道路三谷大間線)の拡幅整備の推進
再開発事業の動向を勘案した上で、引き続き、整備手法などについて地元鴻巣市と調整してまいります。

●主要地方道鴻巣・羽生線の歩道整備事業の推進と国道17号宮地交差点の右折帯の整備推進
鴻巣羽生線の歩道整備につきましては、引き続き、早期完成に向けて用地取得及び工事を進めてまいります。
また、国道17号との宮地交差点につきましては、現在事業中の箇所の進捗よく状況や交通の状況を踏まえ検討してまいります。



●主要地方道鴻巣・川島線、一般県道鎌塚・鴻巣線分岐 追分交差点改良事業の推進
県道鎌塚鴻巣線の追分交差点改良につきましては、鴻巣市道が接続する変則的な交差点でありますことから、今後の交通量や流れの変化などを踏まえ引き続き、鴻巣市と調整してまいります。

●主要地方道行田・蓮田線の特定交通安全施設等整備事業の更なる推進
県道行田蓮田線の歩道未整備箇所につきましては、現在事業中の箇所の進捗よく状況を踏まえ、検討してまいります。
今後とも、通学路や公共施設周辺を中心に歩道整備を実施してまいります。



●主要地方道さいたま・鴻巣線の児童・生徒の交通安全確保に向けた歩道整備の早期完成
県道さいたま鴻巣線の歩道未整備箇所につきましては、現在、事業中の箇所の進捗よく状況を踏まえ、検討してまいります。
今後とも、通学路や公共施設周辺を中心に歩道整備を実施してまいります。

●都市公園(上谷総合公園)の緑地空間と元荒川の親水性ととの調和を図る元荒川親水事業の推進
元荒川親水事業につきましては、事業の実現可能性等について検討してまいります。

●主要地方道鴻巣・川島線(国道17号三ツ木交差点～三ツ木神社付近)の児童・生徒の交通安全確保に向けた道路拡幅及び歩道整備の推進
県道鴻巣川島線の道路拡幅及び歩道整備につきましては、事業箇所の進捗よく状況や交通の流れを見ながら、検討してまいります。

●県道武蔵水路の改築事業に伴う県道整備の推進
・一般県道上中森・鴻巣線における歩道整備の推進
・一般県道鎌塚・鴻巣線 中宿橋の交通安全確保に向けた拡幅及び歩道整備の推進
県道上中森鴻巣線の歩道整備につきましては、今後とも水路管理者との調整を進めてまいります。
また、県道鎌塚鴻巣線の中宿橋の拡幅及び歩道整備につきましては、事業箇所の進捗よく状況や交通の流れを見ながら、検討してまいります。



